

あおばっ子ゆうゆうプラザ

会場	開設	令和6年度の活動状況				
		参加人数			開設期間 曜日・数	講座数
あおば 小学校	2008.6	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	6/20～2/20	9
名称の由来 青葉のように 素直な子ども達		145人 (72.1%) 全校児童数 201人	12人	50人	木曜14日 土曜1日 (フェスティバル) 合計15日	

1. 「17年目：多様な時代を生き抜く力を育んで欲しい」

実施委員長 不破 康史

令和6年度新体力テストの結果を見る機会がありました。全学年において、ほとんどの項目で県平均を上回る成績を残していました。そんな元気な児童145名が(参加率72.1%)参加してくれました。

今学校の現場では、「社会を生き抜く力」を育むこと、即ち創造性、チャレンジ精神、リーダーシップ、国境を越えて人々と協働するためのコミュニケーション能力、異文化多様性の理解、日本人としての自分らしさ等を培っていく目標があります。

これからの時代を担っていく子ども達は大変だなあ、そして指導し見守っていく先生方も、と地域は感じています。だからこそ、子ども達には、楽しく大いに遊ぶことも体感して欲しい。ゆうゆうプラザはそんな場所でありたいと思っています。

2. 「未来への夢が広がる あおばっ子ゆうゆう」

青葉小学校長 白石 昌孝

青葉小は「地域と共にある学校」。その象徴がこの「あおばっ子ゆうゆうプラザ」です。

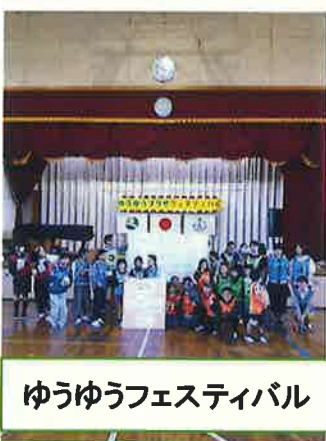
今年度も145名というたくさんの子供たちが参加をしました。これほどたくさんの子供たちが安心して参加できるのは、まさに実施委員、サポーターの皆様があおばっ子をいつも大事に考えてくれているおかげです。あおばっ子のよさを分かってくれていて、参加できる講座を毎年工夫してくれています。また、教える所と見守る所を考え、子供たちが互いに触れ合える、自分達で考え活動できる、そんな楽しい時間をつくってくれています。

「地域の方々とともにあるあおばっ子」、あおばっ子が将来大きくなった時に、「そういえばゆうゆうプラザでこんな活動したよね。」「その時、この方々に教えてもらったよね。」と楽しい思い出を振り返ることでしょう。そして、中には、「今度は、私がゆうゆうプラザで子供たちと一緒に」なんてことも。未来への夢が広がる、それが、「あおばっ子ゆうゆうプラザ」です。「あおばっ子ゆうゆうプラザ」の皆様への感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。

3. 講座紹介と活動中の写真



ティベースボール



ゆうゆうフェスティバル



開校式



絵手紙



将棋



ドッジボール



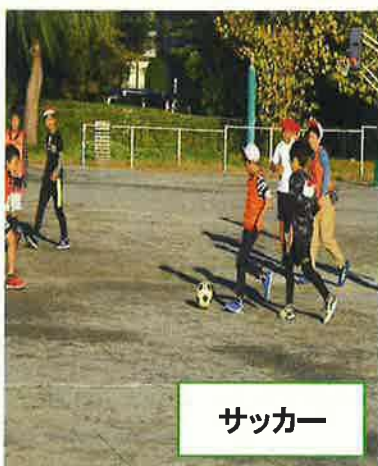
いろいろ遊び



バスケットボール



ダンス



サッカー

4. 成果と課題

★昨年に続き多くの児童が参加してくれた

★テンポラリーサポーターではあるが、保護者の協力者、高校生が増えた

見守りが増えた事で、適切な水分補給指示ができた
熱中症などの予防措置ができた

☆テンポラリーサポーターの囲い込み

☆ボッチャを通じて同好の仲間をサポーターに

☆家族参加がしやすい日程の検討



おりがみ